

県立能楽堂 中期経営目標

(実施期間 平成27年度～平成29年度)

平成27年3月 策定

1 施設の設置目的

本県の能楽や邦楽などの保存及び振興を図ることを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

能の本舞台を備えた施設であり、本県の加賀宝生や能楽文化の発信拠点として、また、県民の能楽の発表の場や、県民が能楽の魅力を体験出来る場として、能楽愛好者の裾野の拡大を図っています。

3 事業内容

(1) 能楽の普及・振興

能楽の魅力に触れてもらうため、子供謡・狂言・仕舞教室や観能の夕べ等を開催するほか、能楽に関する講演会を行っています。また、能楽の継承・振興を図るため、宗家、人間国宝などを講師に招き、能楽師養成事業を実施しています。

(2) 施設の貸館事業

能楽、邦楽の公演、発表会、稽古の場を提供するため、能舞台や練習舞台などの貸付を行っています。

4 現状と課題

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

①施設の利用促進

○能楽の普及・振興

・ 普段、能楽や邦楽に触れる機会の少ない県民や観光客の方々に、気軽に鑑賞できる機会を提供するため、観能の夕べや能楽講座、初心者向けの能楽体験のほか、若手能楽師を起用した冬の観能の夕べ、他流派競演などの開催に取り組んできたところですが、近年、利用者数が5万人前後にとどまり、伸び悩んでいる状態にあります。

・ 観能の夕べの演目を事前に解説するプレ講座を金沢能楽美術館で実施したほか、金沢能楽美術館の資料を能楽堂において展示するなど、連携の充実に取り組んでいます。今後ともこうした連携を継続していく必要があります。

・ 能楽師の後継者を育成するため、中堅能楽師に実技教習の機会を提供する養成事業を昭和60年から実施しているところですが、今後ともこのような取組みを継続していく必要があります。

・ 能楽堂で開催される公演や自主事業について、ポスター・チラシ等の配布やホームページによる広報を行ってきましたが、北陸新幹線金沢開業もあり、更なる情報発信の充実に努めていく必要があります。

- ・能楽により親しみを持ってもらうため、見学の際には、能舞台に上がって能の世界を実際に体験してもらうほか、ビデオ視聴機器を使用して映像で説明しているところですが、職員による説明の充実と見学に関する広報の充実に取り組む必要があります。

○貸館事業

- ・能楽、邦楽の公演、発表会、稽古の場を提供するため、能舞台や練習舞台などの貸し付けを行っていますが、能楽愛好者の拡大に資するため、今後とも本館及び別館の貸館の充実に努めていく必要があります。

②サービス(満足度)向上

- ・自主事業の参加者や来館者を対象に、アンケート調査を実施しており、引き続きアンケート調査を通じて、来館者のニーズの把握に努めながら、事業内容の充実を図っていく必要があります。

- ・初めて来られた方でも分かるように、能楽堂正面前に公演ポスターを掲示するほか、来館者への丁寧な説明や対応に努めてきたところです。また、これまでも公演時の冷水サービスの実施等改善を図ってきたところですが、今後とも必要な改善を行い、サービスの向上に努めていく必要があります。

(2) 施設運営の効率化について

- ・清掃業務について、隣接する美術館と歴史博物館を加えた一括入札の実施など工夫をしてきたところであり、今後とも、経費の節減・効率化に努めていく必要があります。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 利用者数を3年間で5%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。
- ③ 利用者1人あたりの一般財源投入額を3年間で5%削減します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標	H25実績値	目標値(H29)
① 利用者数	50,450人	53,000人
② 利用者アンケートにおける満足度	98.0%	95%以上
③ 利用者1人あたりの一般財源投入額	422円	401円

6 目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

① 施設の利用促進

○能楽の普及・振興

・引き続き能楽界と連携し、他流派との交流や新企画の検討等により、利用者増を図るほか、PRの充実等により、別館の利用促進に取り組んでいきます。

・「観能の夕べ」について、市町、学校関係者及びホテル関係者を無料招待するほか、冬季に実施する「観能の夕べ」の回数を増やすなど、能楽愛好者の裾野の拡大や首都圏等観光客の誘客促進を図ります。

・金沢能楽美術館所蔵の能公演の写真パネルや藩政期の能楽行事など能楽イベント資料の能楽堂での展示回数を増やすなど、連携をさらに拡充します。

・伝統ある能楽の継承と振興を図るため、引き続き、中堅能楽師の養成及び優秀な後継者の発掘・育成に取り組めます。

・「観能の夕べ」などの広報の充実を図ります。(ホームページの充実、新幹線沿線県などでのチラシの配布、自主事業の紹介パネル展示等)

・ホームページ等広報の充実や職員による説明スキル向上等を通じて、団体見学(県政学習バス、小中学校、旅行会社)や一般見学者(県外、外国人)の更なる受け入れに努めます。

○貸館事業

貸館事業の充実を図るため、引き続き能楽界と連携して新しい企画にも取り組み、能楽の公演回数を確保していくほか、別館利用促進のPR活動の充実など利用促進

に取り組んでいきます。

②サービス(満足度)向上

- ・各種自主事業等について、アンケートを実施するなど、利用者ニーズの把握に努め、自主事業や施設運営の充実に努めます。
- ・初めて来館する見学者の受け入れなどに対応する職員のスキル向上に努めるとともに、公演時の冷水サービスの継続など必要な改善に努めます。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・業務委託契約内容の見直しを行うなど、今後とも引き続き経費の節減、効率化に努めます。

参考資料

1 施設の利用状況など

(1) 利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

指標	H 2 3	H 2 4	H 2 5
入館者数	48,742	51,138	50,450
本館入館者数	41,952	45,478	44,182
別館入館者数	6,790	5,660	6,268
稼働率	96.5	98.1	97.1
本舞台稼働率	50.9%	53.9%	46.8%
別館稼働率	66.6%	64.4%	73.4%
自主事業参加人数	3,732 人	3,536 人	3,576 人
講演会・能楽鑑賞会	697 人	510 人	468 人
謡曲講座	87 人	76 人	72 人
子供謡・狂言・仕舞教室	47 人	34 人	35 人
能楽師養成事業	42 人	60 人	42 人
<small>(シテ、ワキ、囃子方)</small>	<small>(シテ、ワキ、狂言方)</small>	<small>(シテ、ワキ、囃子方)</small>	<small>(シテ、ワキ、囃子方)</small>
観能の夕べ	2,859 人	2,856 人	2,959 人

(2) 使用許可等の状況

項目	H23	H24	H25
貸館件数	860 件	888 件	885 件
本館	535 件	579 件	558 件
別館	325 件	309 件	327 件

(3) 使用料の収入実績

項目	H23	H24	H25
施設使用料(本館)	3,147 千円	4,072 千円	3,607 千円
施設使用料(別館)	1,578 千円	1,680 千円	1,761 千円
装束使用料等	97 千円	224 千円	154 千円
計	4,822 千円	5,976 千円	5,522 千円

2 収支の状況

(単位:千円)

		H23決算	H24決算	H25決算	H26予算
歳出	管理運営費	25,646	29,346	25,937	29,425
	職員費	12,621	9,282	11,398	9,366
	普及事業費	615	429	505	795
	能装束等整備費	400	333	380	380
	計	39,282	39,390	38,220	39,966
歳入	特定財源	4,822	5,976	5,539	6,175
	一般財源	34,460	33,414	32,681	33,791
	計	39,282	39,390	38,220	39,966

3 利用者1人あたりの一般財源投入額

	H23	H24	H25
一般財源投入額 ①	34,460 千円	33,414 千円	32,681 千円
職員費を除いた額 ①'	21,839 千円	24,132 千円	21,283 千円
利用者数 ②	48,742 人	51,138 人	50,450 人
利用者1人あたりの一般財源投入額 ①÷②	707 円	653 円	648 円
職員費を除いた額 ①'÷②	448 円	472 円	422 円